

第2回次世代リレートーク報告者募集

非常勤講師・大学院生（博士後期課程）・ポスドクなど 常勤職に従事していない研究者限定

日本移民学会では第8回冬季研究大会において、昨年に引き続き、広義での移民研究に関わる斬新な研究をリレートーク形式でコンパクトに紹介して下さる方を募集します。各報告にはコメンテーターからフィードバックがあり、ベストペーパーには日本移民学会より賞状と粗品が贈呈されます。本企画は、次世代の移民研究者のネットワーク構築の場を提供することを目的としています。

日時：2023年12月9日（土）午前中（開始時間は後ほど連絡します）

開催方式：Zoomによるオンライン方式

報告者：8名 **報告時間：**一人10分

応募資格：非常勤講師・大学院生（博士後期課程）・ポスドクなど、常勤職に従事していない研究者（原則として大学院博士前期課程に入学したのち研究歴15年未満）。

*移民学会会員であるか否かは問いません。

応募方法：1,000字程度のアブストラクト（研究方法、オリジナリティを含む）、履歴書、業績一覧（様式自由）を**9月23日（土）までに**移民学会冬季研究大会窓口 jamstouki@gmail.com 宛てに「次世代リレートーク応募」と明記の上、提出してください（※締め切りを延長しました）。選考は委員会が公正に審査し、9月30日（土）までに結果をお知らせします。その他お問い合わせは、冬季研究大会窓口までお願いします。

第8回日本移民学会冬季研究大会プログラム概要

2023年12月9日（土） すべてZoomによるオンライン開催

第1部 次世代リレートーク（各報告10分×8人）

コメント 東栄一郎（ペンシルヴァニア大学）・高橋典史（東洋大学）

第2部 日本移民学会第1回奨励賞受賞者特別講演

第3部 自由論題

第1回次世代リレートーク（第7回冬季研究大会）受賞者（2022年）

《ベストペーパー賞》

エンバイヤル ノミンエルデネ（筑波大学・院）

「占領期日本における移民としての戦災孤児の足跡をおって―「少年の町」を事例に―」

《特別賞》

鈴木 俊弘（桜美林大学・講）

「「ニグロも英語を話すだろうが」

―20世紀アメリカ社会における奴隷制への想像力と「非言語論的人種論」の展開」

山崎 哲（一橋大学・院）「中国帰国者はなぜ日本社会で見えにくい存在となっているか」

※昨年のプログラムおよび受賞者については、[日本移民学会 HP](#) もご覧ください。